

広島県 公立高校の入試制度

【2020年度版】

選抜（Ⅰ）推薦

選抜（Ⅰ）は推薦入試です。全日制のほとんどの学校で実施されます。

入学定員に対して20%～50%以内の人数を募集します。

（コース制でない普通科：20%，1学級しか募集しない普通科：30%，その他：50%）

●出願（1/20～1/23）

- ・出願には中学校長の推薦が必要。また、学校が出願基準を設けている場合は、それを満たしている必要あり。
- ・出願は1校1学科のみ。ただし同一校内の普通科と普通科のコースは併願可。

●選抜（2/4）

- ・提出書類と面接を総合的に判断して合格者を決定する。
- ・上記に加えて、学力検査以外の方法で、学校が独自の選抜方法を実施することもできる。

●合格発表（2/7）

- ・選抜（Ⅰ）で合格となった場合は、2/12までに入学確約書を提出する。
- ・合格とならなかった場合は選抜（Ⅱ）を受験できるが、新たに出願手続きが必要。

選抜資料（Ⅰ）

選抜（Ⅰ）は下記の資料を総合的に判断し、合格者を決定します。

●面接の結果

●調査書

- ・評定は 9教科×5段階×3学年分＝135点満点 として扱う。
- ・評定の他に、観点別学習状況，特別活動の記録，総合的な学習の時間の記録，他の記載事項も資料として活用する。
- ・2学期末現在の記録で作成。（2学期制の場合は12月末現在）

●推薦書

●志望理由書

●学校独自の選抜

- ・必要に応じて学校が自由に決めることができる。ただし学力検査は不可。
- ・小論文試験を課す学校が多い。専門学科で実技，英語系の学科で英語面接など。

選抜(Ⅱ)一般

選抜(Ⅱ)は全ての学科・コースで実施されます。入学定員から、選抜(Ⅰ)の合格者を減じた人数を募集します。

出願	志願変更	検査日	合格発表
2/14～19	2/20～25	3/5・6	3/13

●出願

- 出願は1校1学科。(Ⅰ)同様、同一校内の普通科と普通科のコースは併願可。また、一部の学科では同一校・学科内で第3志望まで認める場合もある。

●学力検査

- 一般学力検査(共通問題)を2日間で行う。国・社・数・理・英の5教科、各50分。
- 1教科50点満点だが、2教科以内、2倍以内で傾斜配点が可能。
- 高校が独自に作成した問題を実施することもできる。実施方法は、A.一般学力検査に加えて実施、B.当該教科を置き換え、C.一般学力検査の一部の問題を差し換え の3パターン。
- そのほか、必要に応じて面接または実技検査を行うことができる。

選抜資料(Ⅱ)

選抜(Ⅱ)は下記の資料を総合的に判断し、合格者を決定します。

●学力検査の得点

- 学力検査の得点に2分の1をかけた得点を用いる。
※一般学力検査 $5 \times 50 \times 1/2 = 125$ 点満点 が基本。

●調査書

- 評定は9教科5段階3学年分(副教科は2倍)を130点満点に換算する。
 $\{(5科 \times 5 \times 3) + (4科 \times 5 \times 3) \times 2\} \times 130 / 195 = 130$ 点満点
- 評定の他に、観点別学習状況、特別活動の記録、総合的な学習の時間の記録、他の記載事項も資料として活用する。
- 2/7現在の記録で作成。

●面接、実技検査の結果(実施した場合)

学力検査と調査書はほぼ同等に評価しますが、入学定員の20%以内で比重を変えて判定を行うことができます。何をどの程度重視するかは各校で決定します。

高等学校名	学科【コース】	一般学力検査 傾斜配点の 教科(倍率)	選抜(Ⅱ) 一般学力検査と調査書の活用方法						受検者 全員 面接	実技 検査	自校作成問題 教科 実施方法	
			A(一般学力検査の成績)を重視			B(調査書の学習の記録)を重視						AとBをほぼ同等
			学力:調査書	定員枠(%)	順位	調査書:学力	定員枠(%)	順位				順位
安古市	普通		8:2	15	2							
安西	普通								○			
砥園北	普通	数学・英語(1.5倍)	7:3	20	2							
	普通【理数】	数学・理科(1.5倍)	7:3	20	2							
広島市立沼田	普通	数学・英語(2倍)				8:2	10	2	1			
	普通【体育】									○		

※この資料は簡略に表現していますので、詳細は教育委員会の資料でご確認ください。